

Vol. 2 2 全附 P 連 PTA 研修会 第 7 回全国大会

平成 28 年 9 月 30 日（金）～10 月 1 日（土）

「子どもたちに確かな未来を！～今なすべきことを考える～」をスローガンに、全附 P 連 PTA 研修会 第 7 回全国大会が開催されました。

第 1 日目は、教育後援会初任者セミナー、オープニングセミナー、全体会、基調講演・副島賢和（そえじま まさかず）氏、テーマ別分科会 1～3、特別支援部会、教育後援会会長会、情報交換会が行われ、209 校園、約 900 名が参加いたしました。

第 2 日目は、本講演 1・菊池桃子（きくち ももこ）氏、本講演 2・原晋（はら すすむ）氏に続き、次ページの大会宣言が採択され、閉会となりました。

第 7 回全国大会の開催報告は、「附属だより」第 108 号にも掲載しておりますので、ご一読よろしくお願ひいたします。



大会宣言

わが国には急速に進む国際化、高度情報化に加え、他に類を見ない早さでの少子高齢化、人口減少の波が押し寄せています。同時に働き方や社会構造の変化が子どもたちの教育環境にも影響を及ぼし、「子どもの貧困」など新たな問題も発生しています。こうした社会的問題に正面から向き合い、いち早く解決の糸口を見つけ先導的に取り組むことが、いま国立大学附属学校に求められないと強く確信するものであります。

こうした附属の役割を再認識し行動すべく、【子どもたちに確かな未来を！～今なすべきことを考える～】の大会スローガンのもと、第7回目となる研修会全国大会をハイアットリージェンシー東京にて開催いたしました。

国の教育政策推進の拠点校であり、地域の縮図「モデル校」として地域教育機関と連携し、教育活動の一層の推進に寄与していくことが附属に求められている大きな使命であることを再確認し、「我々PTAとして、なすべきことは何か」を参加者全員の共通テーマとして2日間にわたり学び合い、改めて公教育の基盤としての附属学校の必要性を認識するに至りました。私たち連合会は、今後も日々のPTA活動を通して、わが国の教育全般の発展に寄与することをここに宣言いたします。

平成28年10月1日

全国国立大学附属学校PTA連合会
全附PTA連合会 第7回全国大会